



RPA
TECHNOLOGIES

BizRobo!ファミリー キャラクター作成・ 活用事例のご紹介

2022年
デジタルの日
JAPAN DIGITAL DAYS 2022
ふれよう! #デジタルのチカラ

BizRobo!



RPAテクノロジーズ株式会社

BizRobo!ファミリーキャラクター誕生背景

「デジタルレイバーを導入すると現場は本当に歓迎してくれるのだろうか？」

「親しみやすくして、ロボと働く時代を盛り上げたい！」

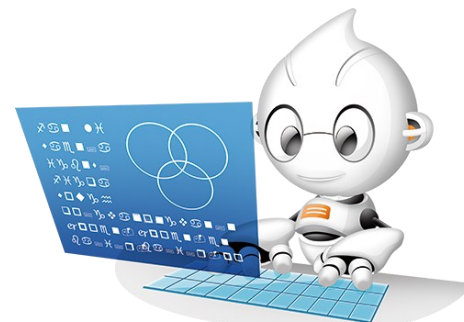
そのようなユーザーの皆様の声からBizRobo! ファミリーは誕生いたしました。

RPAテクノロジーズは「楽しい時代に進化する」ことをミッションに掲げ、

デジタルレイバー普及のため様々な業界の企業様とコラボレーションし、

BizRobo!ファミリーを拡大して参りました。

是非貴社らしいキャラクターで仲間入りして頂けると幸いです。



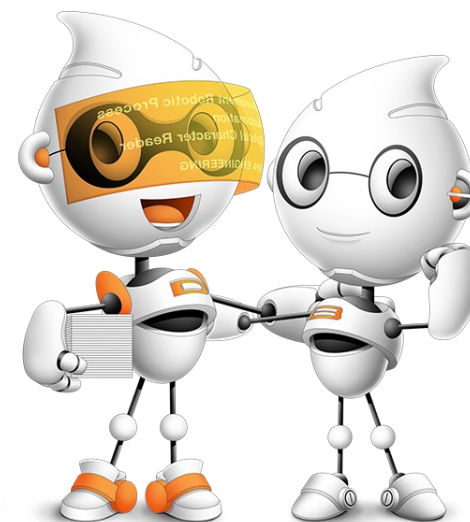
キャラクター作成の効果と活用方法

- **社内の受け入れ環境醸成**

- 社内向けの説明資料や教育資料に
- デジタルレイバーの入社式や履歴書作成などに
- ステッカーなどのノベルティに

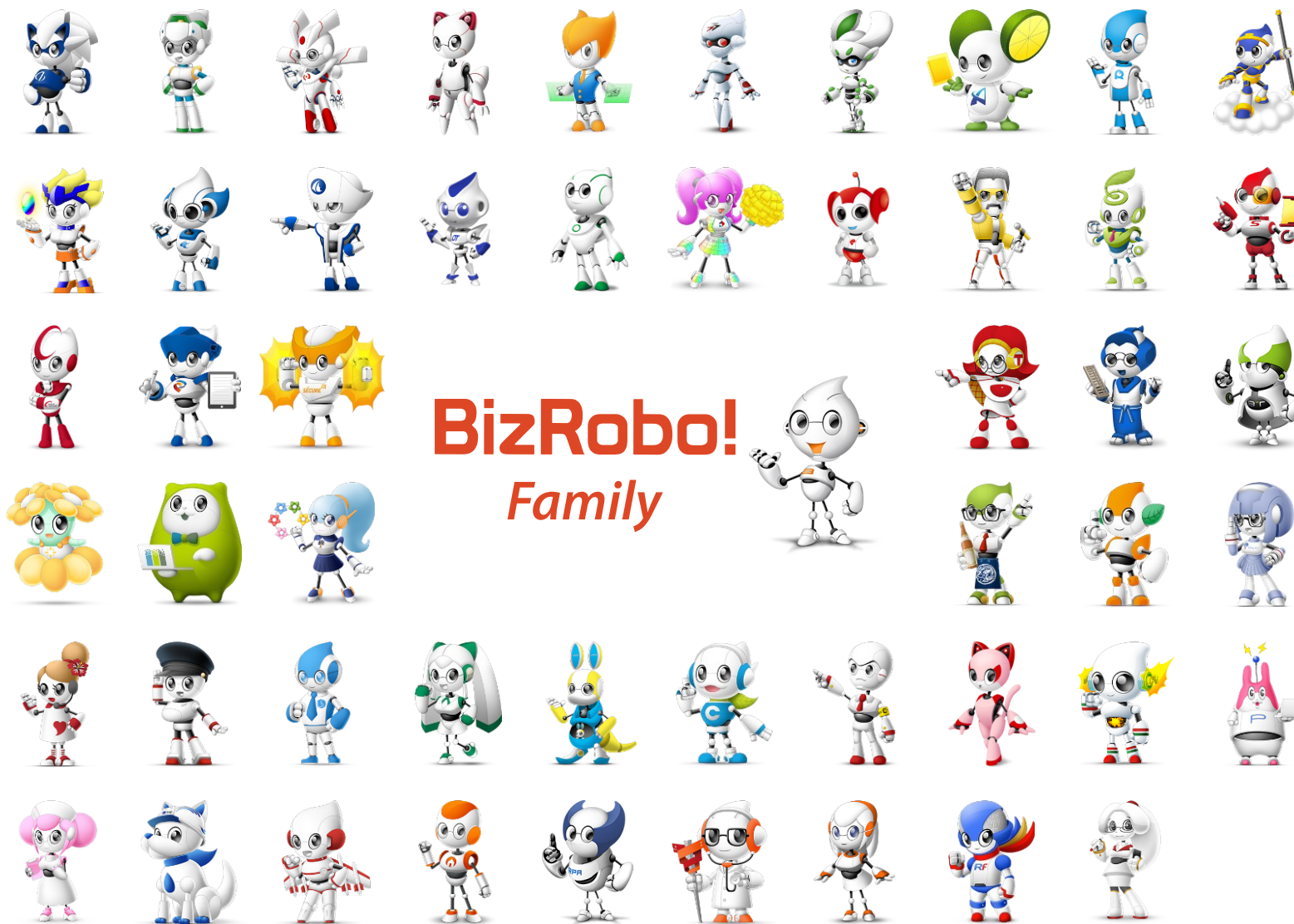
- **社外宣伝・PR**

- 自社のRPA活動を紹介する講演資料に
- プレスリリースに
- 営業資料やノベルティに



**これまでに60体以上の
BizRobo!ファミリーキャラクターが誕生しています！**

BizRobo!ファミリーキャラクター



作成事例：Jマテ. カッパープロダクツ株式会社

DX推進キャラクター Jマテロボカッパー



業務の効率化による人手不足解消に貢献し、働きやすい会社にする

誕生日 : 2022年8月8日
出身地 : 大潟区の鶉の池
所属 : 総務部

特徴：
頭のお皿、手に持っているきゅうりは銅合金でできている

長所：
決められたルール通りの処理を早く正確に行うことができる

短所：
決まりがなく、考えて処理をすることができない

※上記プロフィールは、社内でのデジタルレイバー普及のためにJマテ. カッパープロダクツ社が設定したものです。

活用事例：Jマテ、カッパープロダクツ株式会社 DX推進キャラクター Jマテロボカッパー（1）

① 記者会見等のイベントで活用



② プレスリリースでの活用および記事化事例

PR TIMES フォトリリース・ニュースリリース専用サービス PR TIMES
 Top | アクション | モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティ | ファッション | ライフスタイル | ビジネス | グルメ | スポーツ

Jマテ、カッパープロダクツ かつばのキャラクターが誕生させるRPAプロジェクト推進へ！
 ～地域コミュニティ活性化に向け「大塚かつば祭り」とコラボを実施～

Jマテ、カッパープロダクツ株式会社
 2022年9月19日 10時15分

Jマテ、カッパープロダクツ株式会社（本社：新潟県上越市、社長：山本 雄祐、以下「当社」）はRPA特化である「BizRobot」（RPAテクノロジーズ株式会社）を導入するとともに、上越市大塚区の新宿町「大塚かつば祭り」とのコラボレーションによる「かつば×カッパー（Copper：銅）」のキャラクターを起案し、デジタルレイバーによる業務プロセスの自動化を推進することを発表いたしました。

■経緯について
 日本国内でのデジタル自動化によるさまざまな課題が取り上げられており、特に人手不足や地域コミュニティの衰退は大きな課題となっております。当社は人手不足への対策として活用する「BizRobot」への認知と理解の促進を目的に、RPA特化プロジェクトの一環としてキャラクターの制作を進めました。

また、当社が所有する上越市大塚区の地域行事「大塚かつば祭り」を通じて、地域コミュニティの活性化の取り組みが必要不可欠であり、その土地の歴史や風土を守る活動も重要だと認識しております。社員が地場産物や決まりと経営課題の解決を目的とするとともに、地域コミュニティと共に、"大塚かつば祭り"をはじめとした地域の活性化に貢献したいと考えております。

■当社のキャラクター



このたび、かつばをモチーフとした当社のキャラクターが誕生いたしました。キャラクターの起案にあたっては、当地域のかつばに関する「大塚かつば祭り」で最も知られるかつばを題材に、当社の親しみやすい「Copper（銅）」を取り入れたイラストを社内公募しました。さまざまな案の中から「カッパー（銅）」として社員および地域の「大塚かつば祭り実行委員会」の候補にも投票していたが、本キャラクターに決まりました。

■「BizRobot（デジタルレイバー）」について
 RPAは事務処理や定型業務など人が大変な業務としてこなしている作業を代替できるため、デジタルレイバー（仮称：自動化労働者）と呼ばれています。当社は今後の人手不足への対策として、RPAテクノロジーズ社を中心とした「BizRobot（デジタルレイバー）」の一員となり、今まで行っていた繰り返し作業を「かつばのキャラクター」に任せて自動化し、届出した余力時間を「人でなければできない（知能を持った作業）」に活用して活用を進めてまいります。

■今後の展望について
 当社はこれから半年を目標とする人手不足や地域コミュニティの衰退に歯止めをかけ、社内RPA/DXプロジェクトに加え、社内外のステークホルダーと連携し、地域コミュニティの発展に力を注ぎ進めてまいります。

■大塚かつば祭りとは
 「大塚かつば祭り」は昭和62年の日本経済新聞30周年を記念に始まり、今年で36回を数える上越市大塚区の新宿町です。このかつば祭りの「かつば」は通常大塚区永倉公民館で開催されるほかのかつば祭りに由来しています。

上越 タウンジャーナル
 新潟県 上越市 市民生活情報誌
 トップページ | 掲載 | 広告 | イベント | 新着 | 掲載料 | 取材 | お問い合わせ

「BizRobot」をデジタルレイバー活用します。

RPA特化新書

「かつば」モチーフにキャラクター制作「ロボット社員」導入で働きやすく Jマテ、カッパープロダクツ

RPA特化新書

人手不足解消の業務自動化ツールをキャラクター化

「かつば」をモチーフとした、RPA特化「Copper（銅）」をモチーフとした、かつばのロボカッパーのイラストが、地元活性化の取り組みの一環として制作されました。

キャラクター制作の経緯、その土地の歴史や風土を守る活動も重要だと認識。地元産物や決まりと経営課題の解決を目的とし、地域コミュニティと共に、"大塚かつば祭り"をはじめとした地域の活性化に貢献したいと考えております。

「BizRobot（デジタルレイバー）」について

RPAは事務処理や定型業務など人が大変な業務としてこなしている作業を代替できるため、デジタルレイバー（仮称：自動化労働者）と呼ばれています。当社は今後の人手不足への対策として、RPAテクノロジーズ社を中心とした「BizRobot（デジタルレイバー）」の一員となり、今まで行っていた繰り返し作業を「かつばのキャラクター」に任せて自動化し、届出した余力時間を「人でなければできない（知能を持った作業）」に活用して活用を進めてまいります。

今後の展望について

当社はこれから半年を目標とする人手不足や地域コミュニティの衰退に歯止めをかけ、社内RPA/DXプロジェクトに加え、社内外のステークホルダーと連携し、地域コミュニティの発展に力を注ぎ進めてまいります。

大塚かつば祭りとは

「大塚かつば祭り」は昭和62年の日本経済新聞30周年を記念に始まり、今年で36回を数える上越市大塚区の新宿町です。このかつば祭りの「かつば」は通常大塚区永倉公民館で開催されるほかのかつば祭りに由来しています。

活用事例：Jマテ. カッパープロダクツ株式会社 DX推進キャラクター Jマテロボカッパー（2）

③地元イベント（大潟かっぱ祭り）での活用事例



製作スケジュール&製作費用

【制作スケジュール】

	ステップ	所要時間
STEP1	• ヒアリングシートのご記入 (貴社)	
STEP2	• ラフデザイン案<3案>のご提出 (弊社) • ラフデザイン案のご選定 (貴社)	5営業日程度
STEP3	• 清書デザイン<1案>のご提出 (弊社) • 清書デザインのご確認 (貴社)	5営業日程度
STEP4	• 清書デザインデータのご納品 (弊社)	3営業日程度

※制作期間については、貴社のご都合に合わせて可能な限り柔軟に調整をさせていただきます。

【作成費用】

~~25万円~~(税抜き)/体



デジタル月間キャンペーン
ご当選企業様は
無料